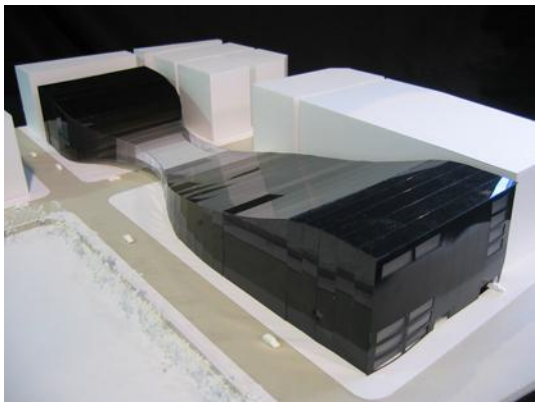
銅賞　珍田恵一朗君

札幌建築デザイン専門学校建築工学科

“Stretched Architecture” －THE SAPPORO CHUO LIBRARY

札幌の中核となる図書館の計画であり、道庁周辺の２街区が敷地として選ばれている。弾性のある直方体の、両端を引き伸ばすことで得られた中央ブリッジに特徴を持たせ、建築のシンボル性を獲得することができた。この手法は、コンテクストを読み込みながら建築をまちになじませていく穏やかな計画手法とは違い、むしろ周囲とのコントラストや矛盾を際立たせることでまちに活力を与えていくのが目的であろう。したがって、道庁を含めた既存建物との対比、札幌特有の格子状街路における異物の姿、といったものを表現することで、周辺に与えた影響を明らかにしてほしかった。また、建物の外壁ラインに押し込められた内部レイアウトは、アクティビティを不自由にしていないかといった疑問が残る。

（文責：加藤　誠君）